

THREEUP

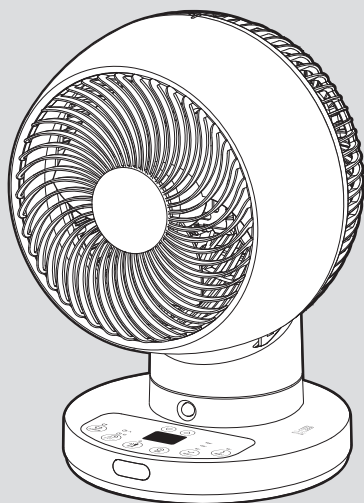
THREEUP

節電センサー付

DCスイングサーキュレーター 360

CF-T2360

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

- 安全上のご注意……………1～3
- パッケージ内容……………3
- 仕様……………3
- 各部のなまえ……………4

ご使用前に

- リモコンについて……………5
- 設置について……………5

ご使用方法

- 運転する……………6
- 停止する……………6～7
- 風量を切り替える……………7
- 衣類乾燥モードを使う……………8
- オフタイマーを使う……………9
- オンタイマーを使う……………10～11
- 首振り運転をする……………11～12
- 節電センサーモードを使う……………13

点検・修理



- お手入れと保管方法……………14～16
- 故障かな?と思ったら……………16～17
- 長期使用製品についてのご注意……………17
- 保証・サービス……………18

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。火災、感電、ケガの原因になります。修理技術者以外の方は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。感電、火災、故障の原因になります。

お子様だけで使わせしないでください。感電やケガ、事故の原因になります。屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。

絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。



禁止

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。動作異常のおそれがあり発熱、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

本体の変形によるショート、発火の原因になります。

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。

感電や故障の原因になります。



禁止

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。また、本体に向けて吹きかけないでください。

爆発や火災の原因になります。

風を長時間、直接身体にあてないでください。

特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方は注意してください。

健康を害する原因になります。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。火災ややけどの原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。

ボタン電池を誤飲する原因になります。

万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れて、水に濡らしたりしないでください。

また、分解や加熱をしないでください。破裂や発熱の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。

異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。



必ず守る

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

警告

電源プラグや電源コードを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極 (+/-) にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。



必ず守る

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。



禁止

前/後ろガードや羽根を取り外した状態で運転しないでください。

ケガや事故、故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。

移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

自動首振り機能は、手で首振りの角度を変更しないでください。

故障の原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

落下、転倒などにより、ケガや事故、故障の原因になります。

⚠ 注意

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

送風口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。衣類やカーテンなどで送風口や吸気口がふさがれたり本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

衣類の真下やカーテンの近く、本体に衣類をかけて使用しないでください。吸い込みによる故障や事故の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

犬や猫などのペット用として使わないでください。ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

- 電極 (+/-) を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。



禁止

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

ボタン電池は電極 (+/-) の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。



必ず守る

運転(羽根の回転)中は、ガードの内側に髪の毛などが巻き込まれないように十分に注意してください。また、ガードの内側に指などを入れないでください。ケガや故障の原因になります。



接触禁止



禁止

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本体一式	1	リモコン (CR2032電池内蔵)	1
取扱説明書 (保証書付き) 本書	1	—	—

仕様

本体サイズ	幅22.5×奥行19.5×高さ31cm	重量	約1.8 kg
材質	ABS、PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	20W	風量設定	11段階 (衣類乾燥含む)
自動首振り	上下90°・左右90°・180°・360°	オン・オフタイマー設定	1～9時間 (1時間単位)
機能	衣類乾燥モード、節電センサーモード	液晶表示、メモリー機能、滅灯機能	
適用畳数 (目安)	2.2畳	1時間あたりの電気代	約0.62円
コード長	約1.5 m	—	—

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

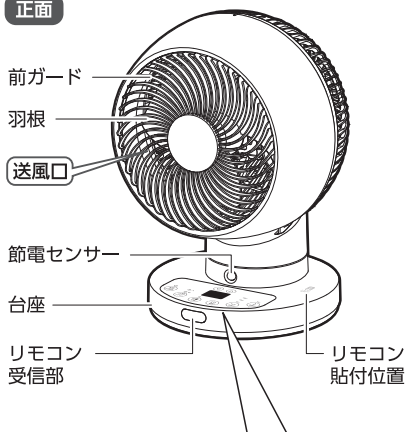
※ 適用畳数 (目安) は当社基準により設定しております。

※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh (税込) で計算した際の目安となります。

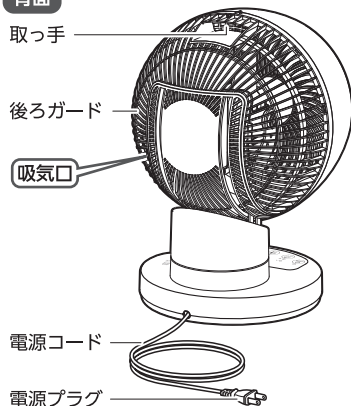
各部のなまえ

■ 本体

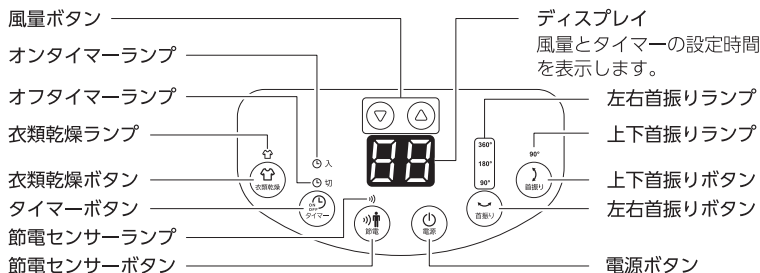
正面



背面

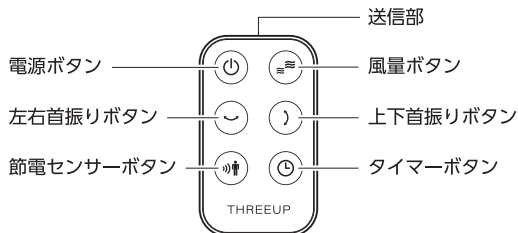


操作部



■ 付属品

● リモコン



ご使用の前に

リモコンについて

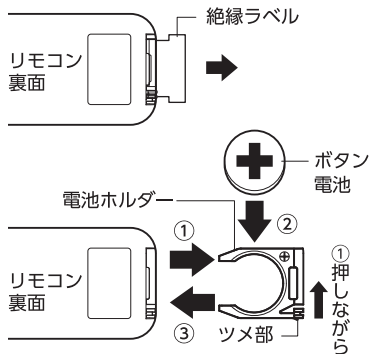
工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く
消耗する場合があります。

■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2032/3V」です。

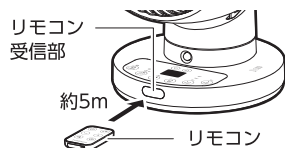
- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまで、はめ込みます。



■ 操作範囲

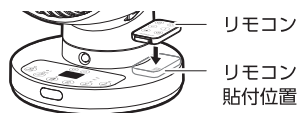
リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約5mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



■ 収納について

リモコンは本体のリモコン貼付位置に貼り付けることができます。

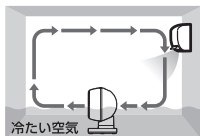


設置について

- 本体は障害物がなく、安定した水平な場所に設置してください。
 - ・ 不安定な場所や棚の上への設置は、転倒や落下によるケガや破損の原因になります。
 - ・ カーテンなどの近く、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置すると、巻き込みによる事故や転倒、破損の原因になります。
- 用途にあわせて設置場所や吹出方向を変えて、効率よく空気を循環させてください。

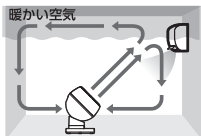
■ 設置例

冷房使用時



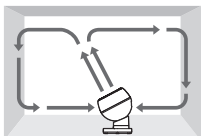
床にたまった冷たい空気を循環させ、部屋全体を快適にします。

暖房使用時



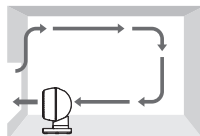
天井にたまった暖かい空気を循環させ、足元まで快適にします。

循環



天井に風を送り、部屋全体の空気を循環させます。

換気

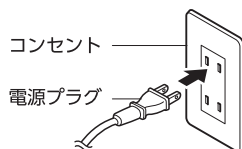


部屋の空気を入れ替えます。

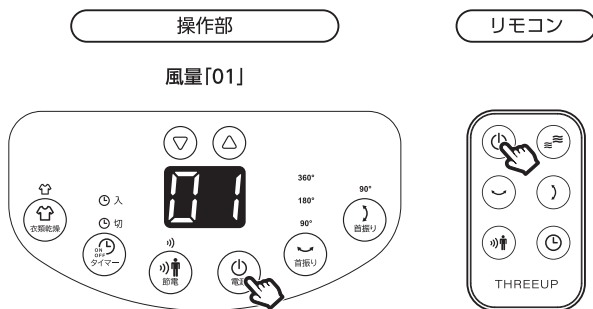
ご使用方法

運転する

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピッピッ”と電子音が鳴って、全てのランプとディスプレイが点灯したあとに消灯し、待機状態となります。



- ② 本体またはリモコンの「電源」ボタンを押します。
ディスプレイに「01」と表示され、風量「01」で運転を開始します。
- 本体とリモコンのボタン操作時は、“ピッ”と電子音が鳴ります。
 - お好みで風量の切り替え、上下/左右首振り設定、オフタイマー設定、節電センサーモード設定を行ってください。



停止する

運転中に本体またはリモコンの「電源」ボタンを押します。
“ピーッ”と電子音が鳴って、全てのランプとディスプレイが消灯し、運転を停止します。

- 左右首振り運転中、または左右首振り運転の停止後に「電源」ボタンを押したときは、全てのランプとディスプレイが消灯し、送風口が中央位置まで戻ったあとに運転を停止します。
- ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※首振り角度は約10°のずれが発生することがあります。センサー特有の動作であり、異常や故障ではありません。

注意

送風口が中央位置に戻って停止するまで、「電源」ボタンを押したり電源プラグを抜いたりしないでください。

送風口の方向が検知できなくなり、中央位置に戻らなくなったり位置がずれたりするおそれがあります。

ご使用方法

メモリー機能

一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。
(オフタイマー設定は除く)

初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは、風量「01」で運転を開始します。

減灯機能

各ランプとディスプレイは、最後の操作から約1分後に減灯します。

風量を切り替える

送風運転の風量を「1」～「10」の10段階で切り替えることができます。

■ 本体操作の場合

運転中に本体の『風量』ボタン「△」または「▽」を押します。

- ・『風量』ボタンは「△」を押すたびに風量が強くなり、「▽」を押すたびに風量が弱くなります。
- ・風量「01」のときに「▽」を押したときと、風量「10」のときに「△」を押したときは、“ピピピッ”と電子音が鳴ります。



■ リモコン操作の場合

運転中にリモコンの『風量』ボタンを押します。

『風量』ボタンを押すたびに風量が強くなります。



メモ

衣類乾燥モードの詳細は、次ページをご確認ください。

衣類乾燥モードを使う

送風運転の風量「10」より更に強い風量に切り替えることができます。

■ 本体操作の場合

● 開始する

運転中に本体の「衣類乾燥」ボタンを押します。

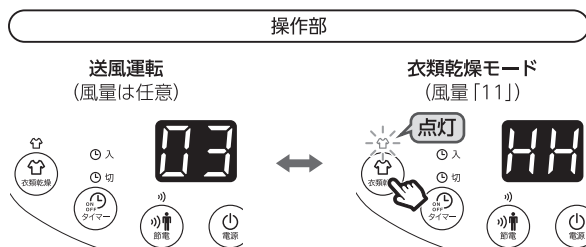
「衣類乾燥」ランプが点灯し、ディスプレイに「HH」と表示され風量「11」となり、衣類乾燥モードで運転を開始します。

● 解除する

もう一度本体の「衣類乾燥」ボタンを押します。

「衣類乾燥」ランプが消灯し、ディスプレイが風量表示となり、送風運転に戻ります。

衣類乾燥モード設定前と同じ風量で運転します。



メモ

本体の「風量」ボタン「△」または「▽」を押して解除することもできます。

- ・「△」を押した場合は、衣類乾燥モード設定前の風量から1段階上の風量になります。
- ・「▽」を押した場合は、衣類乾燥モード設定前の風量から1段階下の風量になります。

■ リモコン操作の場合

● 開始する

運転中にディスプレイの表示が「HH」になるまで、リモコンの「風量」ボタンを繰り返し押します。

「衣類乾燥」ランプが点灯し、衣類乾燥モードで運転を開始します。

● 解除する

もう一度リモコンの「風量」ボタンを押します。

「衣類乾燥」ランプが消灯し、ディスプレイが風量表示となり、送風運転に戻ります。



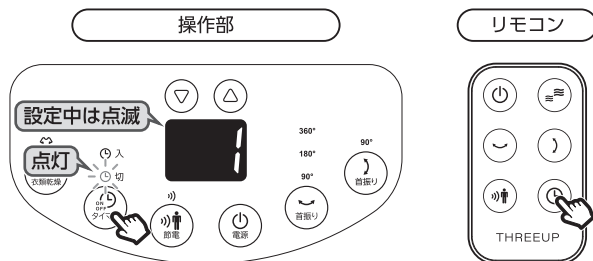
ご使用方法

オフタイマーを使う

1～9時間（1時間単位）の範囲で設定した時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーの設定のしかた

- ① 運転中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
『オフタイマー』ランプが点灯して、ディスプレイが設定表示に切り替わり点滅します。
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの表示時間は「1」になります。



- ② ディスプレイの点滅表示中に、本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
 - ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
 - 『タイマー』ボタンを押すたびに1時間単位で設定時間が切り替わります。



- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイ表示が点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。
オフタイマーの設定中は、『オフタイマー』ランプが点灯したままです。

■ オフタイマー設定完了後のディスプレイ表示

オフタイマー設定中は、ディスプレイに風量を表示します。
運転中に残り時間を確認したいときは、本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押すと、ディスプレイに残り時間が約5秒間表示されます。

■ オフタイマーの解除のしかた

本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを繰り返し押して、ディスプレイ表示を「0」にあわせると、約5秒後に解除されます。

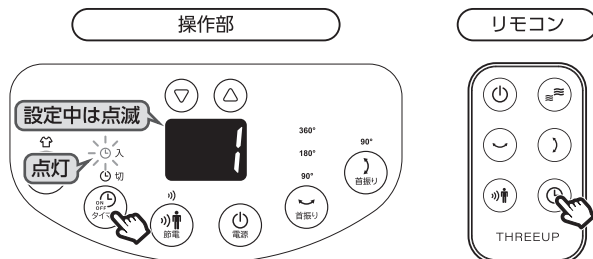
オンタイマーを使う

1～9時間（1時間単位）の範囲で設定した時間が経過すると自動で運転を開始します。

■ オンタイマーの設定のしかた

- ① 待機中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
『オンタイマー』ランプが点灯して、ディスプレイが設定表示に切り替わり点滅します。
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの表示時間は「1」になります。

メモ 送風運転以外の運転モードを設定しているときは、『タイマー』ボタンを押すと設定されている運転ランプも点灯します。



- ② ディスプレイの点滅表示中に、本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
 - ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
 - 『タイマー』ボタンを押すたびに1時間単位で設定時間が切り替わります。



- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイ表示が点滅から点灯に切り替わりと設定完了となり、表示が消灯します。
オンタイマーの設定中は『オンタイマー』ランプのみ点灯し、設定完了から約1分後に減灯します。
- ④ 設定した時間が経過すると“ピッ”と電子音が鳴り、記憶された運転モードで運転を開始します。

■ 運転開始時の動作設定、変更のしかた

『電源』ボタン以外のボタンを押すと、設定されている運転ランプとディスプレイが点灯し、運転開始時の動作設定を変更することができます。

最後の操作から約5秒後に『オンタイマー』ランプ以外が消灯すると設定完了となります。

■ オンタイマー設定完了後のディスプレイ表示

オンタイマーの設定中は、『オンタイマー』ランプのみ点灯します。

運転開始までに残り時間と運転開始時の動作設定を確認したいときは、『電源』ボタン以外のボタンを押してください。

ご使用方法

■ オンタイマーの解除のしかた

本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを繰り返し押し、ディスプレイ表示を「0」にあわせるか、『電源』ボタンを押すと、『オンタイマー』ランプが消灯して解除されます。
『電源』ボタンを押したときは、運転を開始します。

首振り運転をする

上下方向へ約90°、左右方向へ約90°/180°/360°の範囲で首振り運転します。

⚠ 注意



禁止

上下方向と左右方向ともに手動で首振りをしないでください。
設定した角度で動かなくなるなど故障の原因になります。

■ 上下方向の首振り

● 開始する

運転中に本体またはリモコンの『上下首振り』ボタンを押します。
『上下首振り』ランプが点灯して、上下方向に約90°の範囲で可動します。

● 停止する

本体またはリモコンの『上下首振り』ボタンを押すと、『上下首振り』ランプが消灯して、上下方向の首振り運転を停止します。
『上下首振り』ボタンを押したときの角度で停止します。

操作部

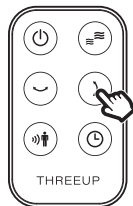
ON



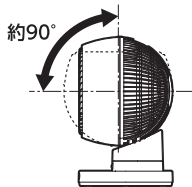
OFF



リモコン



可動範囲



■ 左右方向の首振り

● 開始する

運転中に本体またはリモコンの『左右首振り』ボタンを押します。
『左右首振り』ランプが点灯して、左右方向に首振り運転を開始します。

送風口の位置検知動作について

首振り運転を開始すると、初めに送風口が360°回転します。
送風口の位置を検知するために必要な動作であり、異常や故障ではありません。

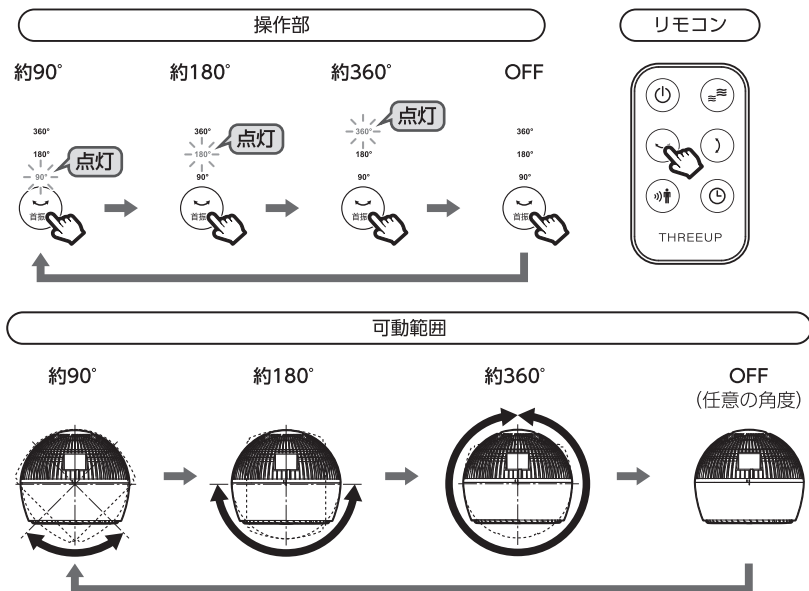
● 首振り角度を切り替える/停止する

本体またはリモコンの『左右首振り』ボタンを押すたびに、首振り角度が90°→180°→360°→停止の順に切り替わります。

設定にあわせて『左右首振り』ランプが切り替わり、停止時は消灯します。

左右首振り運転中、または左右首振り運転の停止後に『電源』ボタンを押したときは、全てのランプとディスプレイが消灯し、送風口が中央位置まで戻ったあとに運転を停止します。

※首振り角度や約10°のずれが発生することがあります。センサー特有の動作であり、異常や故障ではありません。



ご使用方法

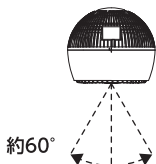
節電センサーモードを使う

節電センサーで人の動きを感知して、運転の停止と再開を切り替えます。

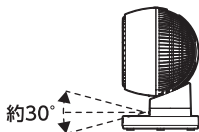
■ 節電センサーの感知範囲

左右方向 感知範囲

上下方向 感知範囲

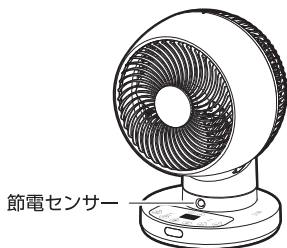


約60°



約30°

感知距離は約2m以内です。



■ 節電センサーの設置環境

●節電センサーの特性上、次のような場所では作動しなかったり、誤作動したりする場合があります。

- ・カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
- ・温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
- ・節電センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
- ・湿度の高い場所や加湿器の近く
- ・エアコンなどの送風を受ける場所

●人がいても、ゆっくりとした動きや速い動き、小さい動き、じっとしているときなどには節電センサーは感知しません。

●ペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

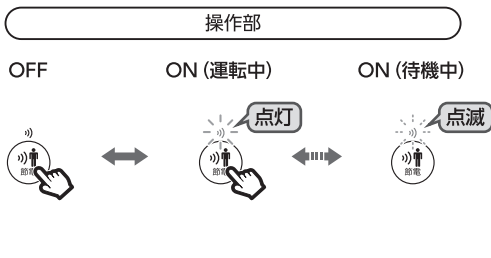
■ 節電センサーモードの設定のしかた

運転中に本体またはリモコンの『節電センサー』ボタンを押します。

『節電センサー』ボタンを押すたびに節電センサーモードの『ON』/『OFF』が切り替わり、設定にあわせて『節電センサー』ランプが点灯または消灯します。

節電センサーが連続で約2分間、人を感知しないと『節電センサー』ランプが点滅して待機状態となり、運転を停止します。

待機中に節電センサーが人を感知すると運転を再開します。



お手入れと保管方法

⚠ 警告



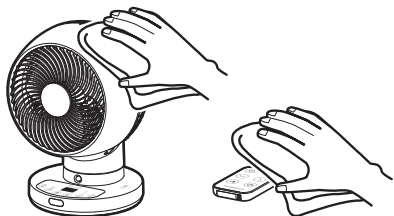
必ず守る

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やケガの原因になります。

■ 本体とリモコンのお手入れ

ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。そのあと乾いた柔らかい布で拭いて、しっかりと乾かしてください。

- お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- リモコンのボタン電池は取り外してください。

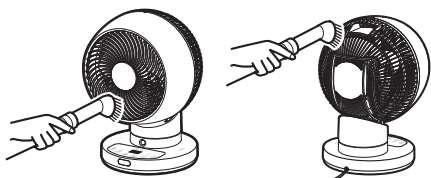


■ 前ガード、後ろガード、羽根のお手入れ

ガードのすき間にたまったホコリは掃除機で吸引取ってください。

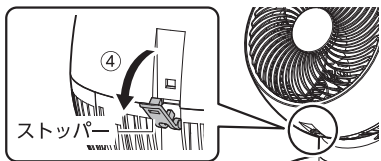
汚れがひどい場合は、前ガード、後ろガード、羽根を取り外して、お手入れをしてください。

- ホコリがたまった状態でご使用を続けると、モーターの過熱や異常音などの原因になります。定期的に点検、お手入れをしてください。
- 取り外した状態で水洗いもできます。水洗いをしたあとは水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。



■ 前ガード、後ろガード、羽根の取り外し/取り付けかた

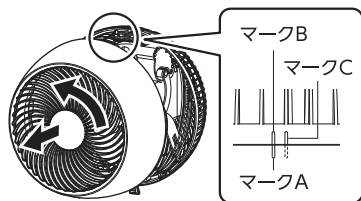
- ① 電源プラグをコンセントに差し込み、『電源』ボタンを押して運転を開始します。
- ② 『上下首振り』ボタンを押して送風口を約30°上に向け、上下首振り運転を停止します。
- ③ 『電源』ボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ④ ストッパーを起こしてロックを解除します。



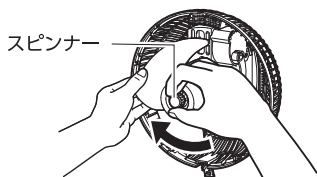
ストッパーは意図せず外れてしまうことを防止するため、固めに設定しております。外れにくいときは、隙間に樹脂ヘラなどを差し込んで、ストッパーを起こしてください。



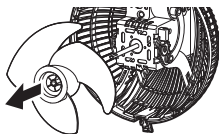
- ⑤ 前ガードを後ろガードから取り外します。
前ガードをマークAとマークBが一致するまで反時計回りに回し、手前に引いてください。



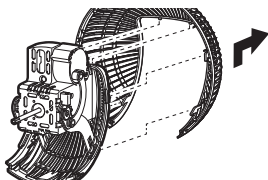
- ⑥ スピナーを取り外します。
片手で羽根を持ち、スピナーを時計回りに回してください。



- ⑦ 羽根を前に引いて取り外します。

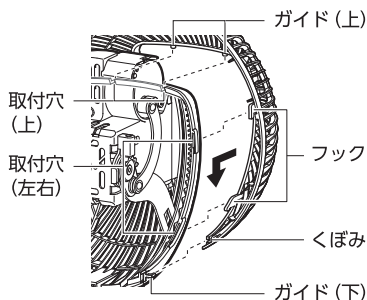


- ⑧ 後ろガードを取り外します。
後ろガードを持ち上げながら後ろに引いてください。

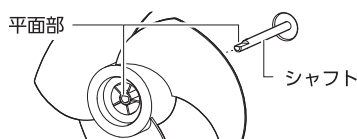


- ⑨ 前ガードと後ろガード、羽根を本体と同様にお手入れをします。
お手入れ後は十分に乾かしてください。

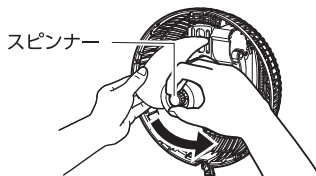
- ⑩ 後ろガードを取り付けます。
a. フック (4か所) を取付穴 (左右) に差し込みながら、後ろガードのガイド (上・2か所) を取付穴 (上) の位置にあわせて下にずらし、フックを引っ掛けてください。
b. 本体のガイド (下・2か所) に後ろガードのくぼみを差し込んでください。



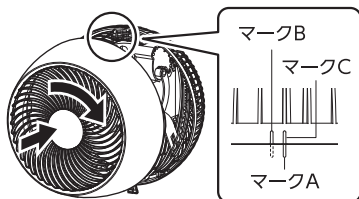
- ⑪ 羽根をシャフトに差し込みます。
羽根の取付穴の平面部とシャフトの平面部をあわせてください。



- ⑫ スピナーを取り付けます。
片手で羽根を持ち、スピナーをシャフトに取り付け、反時計回りにしっかり締め付けてください。
※スピナーの締め付けが緩いまま使用すると、振動や異常な運転音の発生、羽根の破損、故障などの原因になります。



- ⑬ 前ガードを後ろガードに取り付けます。
- 前ガードをマークAとマークBが一致する位置で取り付けてください。
 - 前ガードをマークAとマークCが一致するまで時計回りに回してください。



- ⑭ ストッパーを倒してロックします。
ツメを固定穴に引っ掛けてください。



- ⑮ 電源プラグをコンセントに差し込み、『電源』ボタンを押して運転を開始します。
- ⑯ 『上下首振り』ボタンを押して送風口を正面に向け、上下首振り運転を停止します。
- ⑰ 『電源』ボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜きます。

■ 保管方法

- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをしてしっかりと乾かしてください。湿ったまま保管すると、シャフトがさびたりカビが発生したりするなど故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- 本体にポリ袋をかぶせてお買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	対処方法
羽根が回らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグが外れている。 ● 電源が入っていない。 ● 通電していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントに接続してください。 ● 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 ● プレーカーが落ちていないか確認してください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> ● オフタイマーを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オフタイマーを設定すると、設定時間になると自動的に運転を停止します。設定をOFFにするか、設定を変更してください。

症状	考えられる原因	対処方法
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な場所に設置している。 羽根にホコリが付着している。 前ガードや後ろガード、羽根、スピナーが正しく取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。 「お手入れと保管方法」に従って、正しく取り付けてください。
首振り時に音がする	<ul style="list-style-type: none"> 首振り運転時にモーターの音が大きくなることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 首振りモーター特有の音で、故障ではありません。
送風口が中央に戻らない	<ul style="list-style-type: none"> 手動で首振り角度を変えた。または、送風口が中央に戻っている途中で「電源」ボタンを押したり、電源プラグを抜いたりした。 	<ul style="list-style-type: none"> もう一度左右首振り運転を行ったあとに「電源」ボタンを押して運転を停止すると、送風口が中央に戻ります。
リモコンで動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 「電源」ボタンを押していない。 ボタン電池が消耗している。 ボタン電池の入れかた(+/-)の向きが間違っている。 本体の受信部にリモコンを向けていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「電源」ボタンを押してください。 新しいボタン電池に交換してください。 ボタン電池を正しく入れ直してください。 リモコンを本体の受信部に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。
運転停止後に首振りする	<ul style="list-style-type: none"> 左右首振り運転中に「電源」ボタンを押した。 	<ul style="list-style-type: none"> 送風口の位置を検知するため中央へ移動します。異常や故障ではありません。
節電センサーが感知しない	<ul style="list-style-type: none"> 節電センサーモードに設定されていない。 節電センサーが汚れている。 節電センサーに直射日光が当たる場所や、カーテンなど風で揺れるものの近くに設置している。 節電センサーの感知範囲を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「節電センサー」ボタンを押して節電センサーモードに切り替えてください。 節電センサーのお手入れをしてください。 設置環境について、「節電センサーモードを使う」をご確認ください。 節電センサー感知範囲内でお使いください。(上下30°、左右60°、感知距離2m以内)

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。
 ※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。

長期使用製品についてのご注意

長期間の使用により下記のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートにご相談ください。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● スイッチを入れてもファンが回らない。 ● ファンが回っても、回転が不規則に変化する。 ● 回転するときに異常な音や振動がする。 ● モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがしたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードが折れ曲がったり、溶融(変形)したりしている。 ● 電源コードに触れると、電源が切れたり入ったりする。 |
|--|---|